



校長室だより

まほろば

第24号 平成27年3月30日(月)



春を待つ

卒業式

3月17日(火)

卒業式が行われました。21名の元気な鳴鹿っ子たちはそれぞれの進学先で、それぞれが活躍してくれることでしょう。

式ではくどくどと話をしました。

- ①みんな友だちという考えも大事だが、気の合わない人とトラブルを起こさずに付き合っていく作法を身につけることも大事
 - ②中学校という大きな舞台上、先生、先輩友だちからよい影響を受け、活躍して欲しい
 - ③自分たちがどうしても歌いたいと決意し卒業歌「3月9日」をしっかりと歌って欲しい
- の3点をお願いしました。

特に①については、一人一人が持っている「良さ」が集団になると予定調和を強いられ、一人一人の良さが発揮できなくなるといったことが多く見られるため、人に流されないということはよほど心が強くないとできませんが、大事なことだと思います。



定期異動：ありがとうございました

平成26年度末の異動で、3名が転出することになりました。短い間でしたが鳴鹿の暖かい保護者の方や地域の方に支えられて楽しく充実した時間を過ごさせていただきました。有り難うございました。新たな任地でも、ここでの経験を支えに頑張っています。

浅野正樹：熊本県大津町大津小学校へ

2年間、3年生、4年生と持ち上がり、その間、生徒指導主事として校内校外の生活指導を担当しました。毎朝児童玄関に立って、あいさつの声を掛けながら、登校してくる子どもの表情を見て、その日の心身の様子も見てくれました。

また、E S Dの担当として、ビオトープを中心とした本校の環境教育を進めました。

平成27年度は、福井県の教員の代表として熊本県へ赴き、熊本の教育を学びながら、同時に福井の教育も熊本に広げ、現代版の横井小楠として福井と熊本を繋いでくれると思います。

高山和貴：高椋小学校へ

中村教諭の産休代として、3年生を担当しました。若さという武器は両刃の剣ではありますが、体育専門ということもあって圧倒的な運動神経で子どもたちを引きつけました。支援に入った仲谷先生と息もぴったりで、特に年度後半はクラス全員で縄跳びに挑戦し、ダブルタッチなどの難しい技にも挑戦。5年生と対決をするなど、クラスが見事に団結しました。

高椋小学校でも、子どもたちと元気に活躍してくれることでしょう。

最後に私、前は春江小学校に赴任することになりました。敦賀で新採用になり、3年後に嶺北に戻って最初の学校が春江小学校なので、31年余年振りに戻ることになりました。

鳴鹿小での2年間、あれもやりたいこれもやりたいと思ったものの、どれも十分に根付かないどころか芽も出ず、成果が出ないままになってしまうことが悔やまれます。課題を残しながらの転任になってしまいましたが、新進気鋭の後任に後を託したいと思います。

これまでのご協力、ご支援、本当に有り難うございました。

(裏面白紙)

